

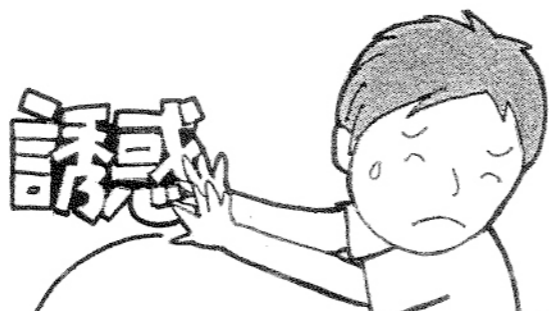
君の夏休みの 怠け心に打ち克つ!

自分に甘過ぎる怠け心に打ち克つために...



目標をしっかりと持ち続けよう!

君には夏休み中に達成したい目標があるはず! その目標を達成することが次のさらに大きな目標につながる。



誘惑をきっぱり断ち切ろう!

君の怠け心にしのび寄るたくさんの誘惑! 自分を見失いその場の雰囲気にならされては何も得られない。

時間をなにより大事にしよう!

気が付けばあ、と言う間に終わっているのが夏休み! 今年の夏休みは君の人生でただ一度の夏休みであることを忘れてはいけない。



当教室は夏休み中の学習相談をいつでもお受けしています。

塾長からのメッセージ!

夏が終われば秋が始まる!!

始める人になるう!

春夏秋冬、一つの季節が終われば新しい季節が始まります。暑い夏が永遠に続くわけではありません。夏の終わりは秋の始まりなのです。

一つの別れが、また新しい一つの出会いにつながるように、終わりはいつでも新しい始まりでもあります。

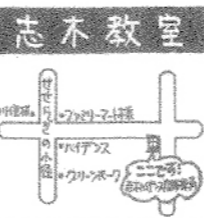
君たちの人生は終わり始まりに満ちています。だから、いつでも君たちは「始める人」でいてください。新しい自分の姿、より良い自分の姿を追い求めること。毎日新鮮な気持ちで新しい朝を迎えることが一番大切なことです。今日この時こそが新しい君への第一歩なのです。

夏休みが終わったら、新しい君を始めてください。向上心を持ち続けられる人は、いつでもどこからでも始められる人です。

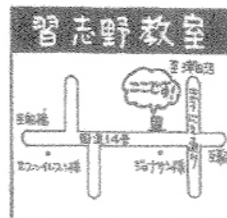
今日も胸に希望をいっしょに詰め込んで君たちは始める人になるう!



数検・英検・漢検 実施校!



志不市上宗岡4-6-27-131
048(472)7618 (TEL)



習志野市谷津2-3-7
047(452)6461 (TEL)

有限会社GANTS教育研究所

心藤進ゼミナール

教室不在時はこちらへお問い合わせ下さい!

048(472)7819

お金の単位、円！

現在の日本のお金(通貨)の単位は、1871年に定められました。日本語表記で円、ローマ字表記でYenです。その由来は、人々がお金を表す時人差し指と親指で円(まる)を作ったところからついたという説、また、当時の香港の硬貨「香港壹圓」からついたという説があります。

※ 中国の通貨単位「元」は「円」の正字「圓」の同音を当てたもので、韓国・北朝鮮の「ウォン」も「円」を朝鮮語読みしたものです。

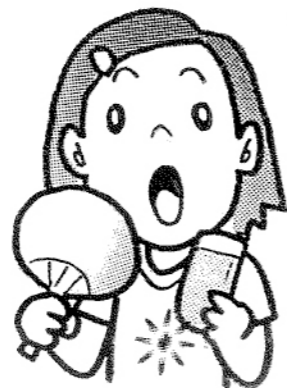


夏休みの自由研究

日本のお金

流通しているお金の量

昨年末に年越しをしたお金は、125,116枚、総額899億枚でした。積み重ねると1,859km、横に並べると289万kmにも及びます。すごいですね！



一番最初の円の基準

明治政府が1871年に単位を円に決めた時に伊藤博文の建言により、純金1500mgを1円とする金本位制の導入で、20円、10円、5円、2円、1円の日本最初の洋式本位金貨が鑄造され発行されました。この量目は当時国際貨幣制度確立案としてアメリカ合衆国下院で提案中だった1ドル金貨の金純分と同じものでした。

2024年に20年ぶりに刷新されることになった新紙幣

千円札に北里柴三郎、五千円札に津田梅子、一万円札に荒沢栄一が描かれます。

お金の表と裏

法的な表、裏の定めはありません。一般的には年銘のある方が裏という扱いがあります。

私たちの生活は、お金の流通によって成り立っています。君たちが身につけているものも、使っている文具や本、そして、食事に関わる一切の事などほとんどがお金との引き替えで手に入れています。そんな日本のお金についての自由研究です。

5円と50円の穴

他の額面のお金と識別がしやすいように5円と50円には穴があけられています。初めて穴のあいたお金が作られた大正6年時点では、偽造防止、素材の節約の意味がありました。

為替相場の仕組み

世界には、さまざまな通貨があり、それぞれの国で決められた通貨を使用することが原則となっています。日本の企業が輸入や輸出をする時には、日本の円を外国の通貨に換えて計算して取引をしなければなりません。その時にいくらで交換するかを決めるためにアメリカドルを基準にして、交換する割合を決めています。これが為替相場です。

「円高ドル安」とは、例えば1ドルで買えるジュースがあるとします。1ドル=100円の時には、日本円が100円あればジュースを買うことができます。ところが1ドル=80円の相場になるとジュースを買っても20円のおつりができます。日本のお金(円)の価値がドルに比べて上がったので同じジュースを買ってもおつりができるようになったのです。これが「円高」。これに対して1ドル=130円の相場だと同じジュースも100円では買えません。これが「円安」です。2022年は円安が続きました。

